

支持者の獲得
イベント例



RACE & FANS
FOR A CURE



Dream for the Cure™
The Wyndham Way to help fight breast cancer.

The Susan G. Komen
Breast Cancer Foundation



The Susan G. Komen
Breast Cancer Foundation

The Power of
a Promise
20 YEARS

政治・自治体への働きかけ

成果



- ・早期発見と治療に関する一般市民への教育・啓発
- ・治験登録者の増加
- ・調査結果の迅速な解読
- ・政府・保険会社による十分な補償を確保
- ・資金の確保と維持



The Susan G. Komen
Breast Cancer Foundation

The Power of
a Promise
20 YEARS

政府・自治体への働きかけ 法律の整備と予算獲得

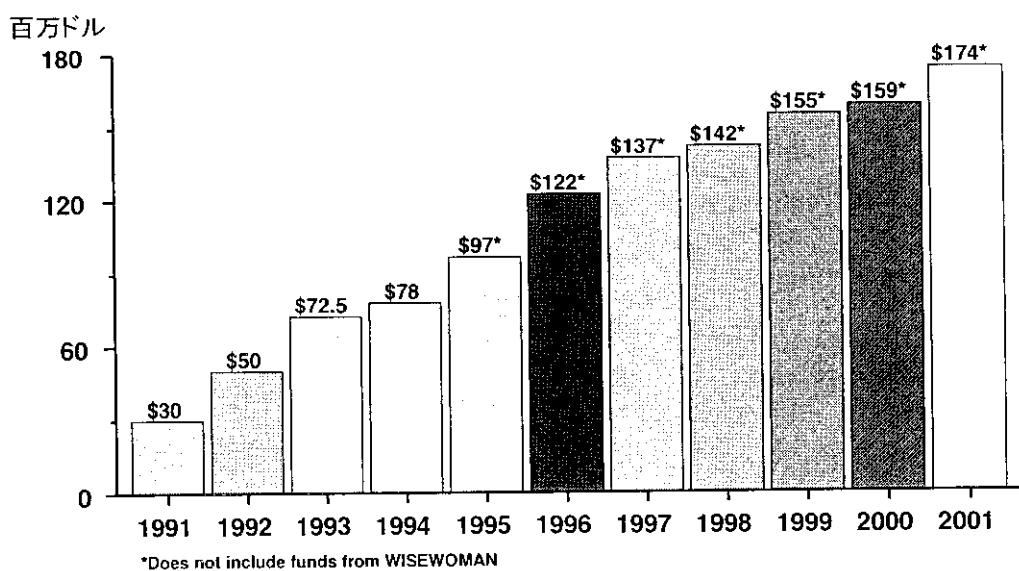
- MQSA
- DOD 乳がん研究プログラム
- 乳がんに関する全米の活動計画
- BCCEPD(乳がん・子宮がんの早期発見プログラム)
- NCI(国立がん協会)の予算倍増
- 治療に関する各州の法律整備



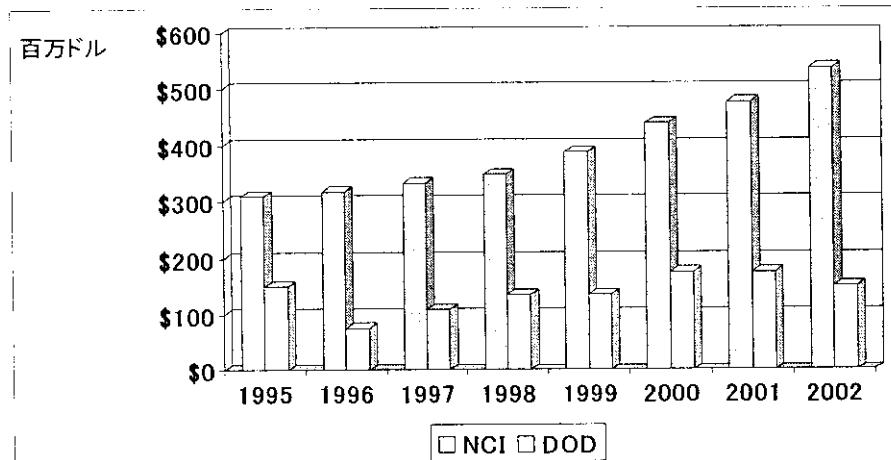
The Susan G. Komen
Breast Cancer Foundation

The
Power of
a Promise
20 YEARS

NBCCEDPの予算



連邦政府からの 乳がん研究・調査費用



活動に市民権を 活動維持の原動力

A graphic with a textured background featuring three main pillars supporting a banner. The banner contains the text "活動に市民権を 活動維持の原動力".

- 企業** (Enterprise) with a small icon of a person at a desk.
- 科学・技術** (Science & Technology) with a small icon of a person in a lab coat.
- 政府** (Government) with a small icon of a person in a suit.

The Susan G. Komen Foundation logo is in the bottom left, and the text "The Power of a Promise 20 YEARS" is in the bottom right.

活動に市民権を 企業

コメン財団への100万ドル寄付企業



Johnson & Johnson

FAMILY OF CONSUMER COMPANIES



The Susan G. Komen
Breast Cancer Foundation



Kellogg's®

Pier 1 Imports



Cards

The
Power of
a Promise
20 YEARS

活動に市民権を 科学・技術



The Susan G. Komen
Breast Cancer Foundation

- 治験計画
- IRBs(施設内諮問委員会)
- 助成金の再検討
- 予算の増加
- 専門家の研修

The
Power of
a Promise
20 YEARS

活動に市民権を
政府



The Susan G. Komen
Breast Cancer Foundation

The
Power of
a Promise
20 YEARS

乳がん検診についての調査

2003年6月実施

ジョンソン・エンド・ジョンソン
ウーマンズヘルス

西川 千佳子
2004年3月12日

Women's Health Business Unit

調査概要

- 調査エリア： 東京
- アプローチ： フォーカスグループインタビュー
- グループ数： 2 (1グループ8人)
- 対象者特性：
 - 35-49歳の既婚女性
 - 最近1年に健康診断を受けている
 - 各グループとも、半数は最近1年に乳癌検診を受けている。
残り半数は、少なくとも最近1年以内には乳癌検診を受けていない。
- グループ構成： Group1主婦、Group2有職女性
- 調査日時： 2003年6月10日 各2時間

乳癌検診に消極的な理由

- 「自分には関係ない」
 - わたしはがんにはならない
- 「怖い」
 - がんといわれるのが怖い
- 触診への強い抵抗感と不信感
 - 男性医師への抵抗感。「本当に見つけられるの?」という不信感。
- 超音波やマンモグラフィー検査は身近ではない
 - 一般の健康診断に組み込まれていないので、有料。待ち時間が長い。どこで受けられるかわからない。

何を伝えるか

- 人ごとではない: 30人に1人が発症、発生率は年々増加している。
- 早期発見の意義: フローを示す。具体的意義を知らせる。(生存率アップ。温存できる可能性が高い。傷痕が小さくてすむ。治療オプションが多い。)
- しこりの8割は良性: 安心感。むやみに怖がらせない。
- どこにいけばよいのか: 信頼できる施設・検診センター情報